

反射型赤外センサ基板 完成モジュール

【概要】

反射式の赤外センサモジュールです。物体が近づいたかどうかの判別、机に座っているかどうかの判別に使用できる汎用センサ基板です。

【使い方】

動作確認のため単三電池2本を入れ動作確認を行ってください。物体が5～15cmに近づくとLEDが点灯します。離れると消灯します。正常な動作をしない場合は【注意】の項目を確認してください。

出力回路はオープンコレクタとなっていますので から へ電流が流れ、スイッチと同様の動作をします。ただし、純粹のスイッチと異なり最大電圧は18Vまで電流は20mAを最大としてください(LEDと抵抗ははずしてください。)

仕様

電源 単三乾電池×2 (DC3V)

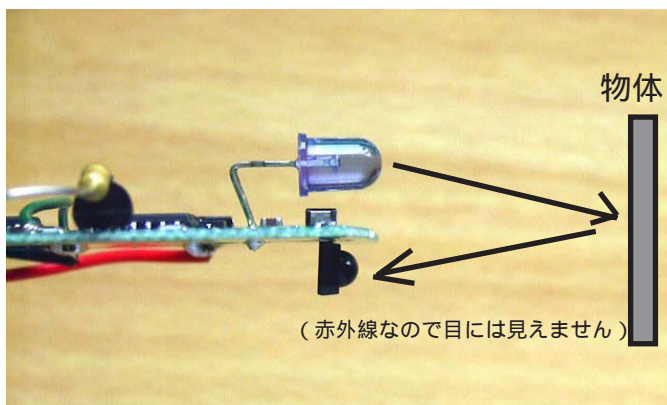
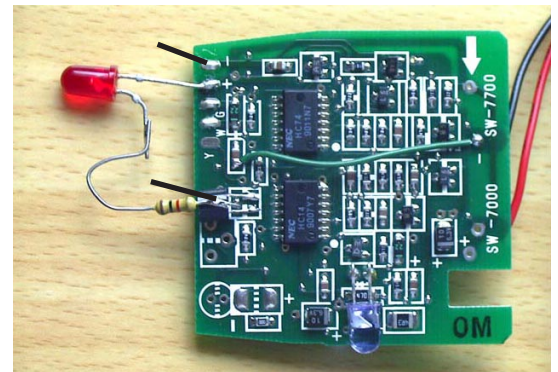
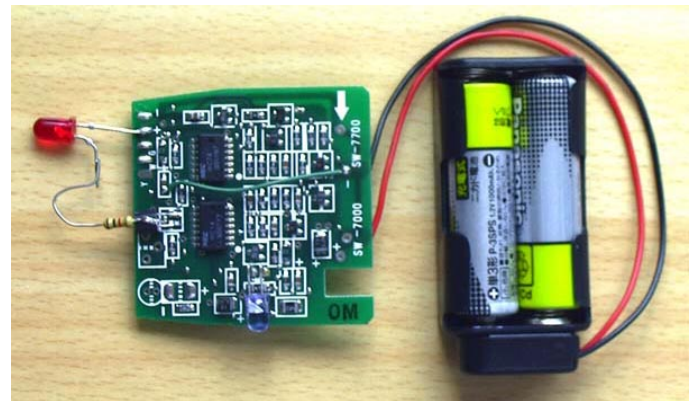
消費電流 非検知時 350μA (標準)

検知時 600μA (標準) (オープンコレクタとして使用する場合)

検知距離 約10cm程度 (検出物体により5～15cm)

出力電流 最大20mA

基板寸法 約50×50mm (赤外LED、赤外センサ部を除く厚さ約6mm)



外部のものに接続して何かの機能を持たせるには電気知識が必要です。

LEDや外部の接続したものをこの電池の電源で動作させると電池寿命は短くなります。

乾電池を使用しないでACアダプタ等を接続される場合はご注文前にお問い合わせください。

赤外線の反射を利用していますので検知距離は検知物体により異なります。大面積の場合は遠くでも検出でき、また、赤外線の反射しにくい黒い物体は検出距離が短くなります。ご使用にあたってはこの点を考慮してください。

【注意】

正常に動作しない場合は下記点を確認ください。

LEDがつかっぱなしになる場合は周囲の赤外線の反射を拾っています。センサ前面(または側面)に反射物体がないか確認して取り除いてください。また、赤外LEDの角度を変えてみてください。

点灯しない場合は物体が赤外線を反射しにくい物の場合が多いので他の物体で試してみてください。一般的に黒い物体は赤外線を反射しにくいので検出しにくくなります。

長距離に反応するようセンサを調整すると、物体が無いときに誤検知しやすくなります。その点を考慮して調節してください。

(有)アール・アイ・エフ

〒648-0096 和歌山県橋本市御幸辻766-16

TEL 0736-33-0410

FAX 0736-33-0430

<http://www.rif-jp.com/>